

令和4年2月定例会本会議（令和4年3月7日）

◆風間ルミ子 次に3、介護保険料納入済額のお知らせ訂正版発行について伺います。

私事になりますが、毎年1月に入りますと、確定申告に備えて社会保険料控除の証明書など各種証明書をそろえ申告の準備に取りかかります。例年ですと1月25日頃には国民健康保険料の納入済証が送られてきているのに、今年は25日を二、三日過ぎても届きませんでした。そこで区役所に問合せしましたが、介護保険料のところで手違いがあり遅れているとのことだったわけです。その後、市議団に市民の方から問合せがありました。何でこんな間違いがあるのか、再発行にはまた税金が使われるではないかなど、もっともな御意見でありました。

そこで(1)として、訂正版発行に至った経緯について、改めてお聞きしたいと思います。

○副議長（金子益夫） 佐久間福祉部長。

〔佐久間なおみ福祉部長 登壇〕

◎福祉部長（佐久間なおみ） まず、このたびの事務処理誤りにつきまして、改めておわび申し上げます。

介護保険料は社会保険料控除の対象となることから、毎年1月に介護保険料納入済額のお知らせにより、年間の納入済額をお知らせしています。本年1月24日に、令和3年分のお知らせを発送したところ、翌1月25日に市民の方から、日本年金機構より送られた公的年金等の源泉徴収票に記載の介護保険料額とお知らせに記載の額が異なる旨の御指摘をいただき、内容に誤りがあることが判明いたしました。集計作業を委託した業者に対する指示内容の精査が十分に行われなかったことにより、システムから年金天引き額のデータを抽出する際に、集計期間を誤って設定したことが原因となります。お知らせは、確定申告などの資料となるため、できる限り手続に影響が出ないように、税務署などの関係各所と調整を行い、2月9日に訂正後のものを本市の第1号被保険者全ての方々にお送りいたしました。

〔風間ルミ子議員 発言の許可を求む〕

○副議長（金子益夫） 風間ルミ子議員。

〔風間ルミ子議員 登壇〕

◆風間ルミ子 次に(2)、訂正版発行に要した費用について伺います。

市民の方からもお問合せがありました。市民厚生常任委員協議会での説明では、特別徴収

者約 22 万人のうち、本事案が発覚し、郵便局に配送停止を依頼した時点で、既に配送済みの約 4 万 9,000 人に再度郵送したとのことでした。再印刷、再送付等に要した経費は幾らだったか伺います。

○副議長（金子益夫） 佐久間福祉部長。

〔佐久間なおみ福祉部長 登壇〕

◎福祉部長（佐久間なおみ） 今ほども申し上げましたが、訂正後のものを改めて本市の第 1 号被保険者全ての方にお送りいたしました。再送付したお知らせは約 24 万通で、これにかかる印刷代は約 680 万円、郵送代は約 1,320 万円となり、合わせて約 2,000 万円を要しました。

〔風間ルミ子議員 発言の許可を求む〕

○副議長（金子益夫） 風間ルミ子議員。

〔風間ルミ子議員 登壇〕

◆風間ルミ子 二度とあつてはならんことだと思うんですが、再発防止に向けて、どこをどう改善しようとしていくのかも伺いたいと思います。

先日も中央区役所で、個人情報控えを紛失するという事案があり、行政への信頼がまた 1 つ失われたというような思いがいたしました。

（3）、同じ過ちを繰り返さないために、再発防止に向けてどのような対策を取るのかお聞かせください。

○副議長（金子益夫） 佐久間福祉部長。

〔佐久間なおみ福祉部長 登壇〕

◎福祉部長（佐久間なおみ） 今回の事務処理誤りは、構築していたはずの業務管理体制が機能しなかったことにより発生してしまったものと認識しています。

今後は、作業スケジュール、内容などを組織として共有し、複数の職員で確認することを改めて徹底いたします。また、委託業者と相互に同じ認識を持つことができるよう、指示内容を見直すことで同様の誤りを防いでまいります。今後も、必要な見直しを継続的に行い、その有効性を検証することで再発防止に努めてまいります。

〔風間ルミ子議員 発言の許可を求む〕

○副議長（金子益夫） 風間ルミ子議員。

〔風間ルミ子議員 登壇〕

◆風間ルミ子 チェック機能を高め、再発防止にぜひ取り組んでいただきたいと思います。1点市長にお伺いしたいと思います。

介護保険料納入済額のお知らせ訂正版に次のような一文があります。「既に申告を済ませた方でこのお知らせの額と異なる額で申告をした場合は、訂正の申告が必要になる場合があります」と書かれてありました。私はこの文章を見て、上から目線を感じまして、とても嫌な思いがいたしました。先日、小泉伸之議員も質問されておりましたが、こういう例は度々この間見られていたと思います。間違えたのは市民のほうではありません。まるで早く申告したことが悪かったような印象を受けるこの文章です。スペースが限られて、字数の関係もあったのかもしれませんが、お手数をおかけしますがよろしく願いしますなど、おわびの気持ちが伝わる一言があってしかるべきではないかと思いますが、市長の受け止めをお聞かせください。

○副議長（金子益夫） 中原市長。

〔中原八一市長 登壇〕

◎市長（中原八一） 今回の過ちを徹底的に検証し、そして再発防止に努めていきたいと考えております。また、市民に対する訂正につきましては、言葉遣いも含めまして、今後、十分検討してまいります。

〔風間ルミ子議員 発言の許可を求む〕

○副議長（金子益夫） 風間ルミ子議員。

〔風間ルミ子議員 登壇〕

◆風間ルミ子 市政運営で一番大切なことは、やっぱり市民の信頼だと思います。このたびのことを教訓に、信頼される市政運営をぜひ行っていただくことを期待いたしまして、質問を終わります。ありがとうございました。（拍手）